



ネパール大地震募金活動

2015年4月25日、ネパールにM7.8の地震が襲い、死者8000人以上という未曾有の被害をもたらしました。国民のおよそ半分が18歳未満のネパールでは、今すぐ支援を必要とする子供が170万人発生しているとして、今後3ヶ月の支援活動に必要な資金を約60億円と見積もり、ユニセフは世界に緊急募金を呼びかけています。

<http://www.unicef.or.jp/>

そこで日本医療大学ボランティア部では、昨年の夏休み期間にネパールでホームステイをしていた看護学科2年の稻葉美穂さんが発起人となり、北海道ユニセフ協会と連携した募金活動を5月11日から22日までの2週間実施しました。大学食堂やコンビニマイド、大学本部や事務局、諸先生の各研究室等を訪問して33465円を集めることができました。5月22日の贈呈式で、皆さまからお預かりした募金は学生たちの手で北海道ユニセフ協会事務局に届けることができました。

に年学
つ金生年
いセの20
てミた歳
ナめに
のなる



4月21日(火)4講義目に真栄キャンパスの301教室で、新札幌にある年金事務所から担当官が来校し、年金セミナーが開催されました。今年20歳になる学生60人あまりが参加し、熱心に聞き入っていました。

実安
施全
に週
間に
ついて



日本医療大学 実・全体会議
写真是北海道警察本部
犯罪被害者支援室の
成田勝也係長による

昨今、大学生が犯罪に巻き込まれる事件が増加しています。日ごろから防犯意識を持つことは、被害者になることからも、加害者になることからも学生を守ります。せっかくスタートした大学生活の彩りを消してしまうことのないよう、若者が巻き込まれやすい事件や事故に関する情報を常に認知しておく必要があります。

大学では5月に「安心・安全週間」を毎年設定していますが、今年も各キャンパスで、啓発のためのポスター展を一週間開催しました。また「若者を狙う犯罪、被害者にも加害者にもならないために」と題する講話会を実施し、真栄キャンパスでは5月11日(月)に北海道警察本部警務部警務課犯罪被害者支援室の成田麻知子係長に、恵み野キャンパスでは5月19日(火)に北海道札幌方面千歳警察署交通第一課企画・規制係の藤田稔係長にご登壇いただきました。また昨年同様本学の林美枝子教授に「デートDVとキャンバスハラスメント、親密な関係での人権侵害について」と題した特別講義を、やはり両キャンパスで行ってもらいました。

学生からは「自分の身はまずは自分で守ることが大切である」、「犯罪被害についての情報収集と日ごろの警戒が重要」、「加害者の心情について初めて聞くことができて興味深かった」などの感想が寄せられました。

(あづまし)
北海道の方言で、
居心地が良いという意味

(お願ひ) 紙面に掲載されたすべての情報は転載・コピー等を禁止いたします。
掲載されている写真等の使用に関しては、本学における「個人情報取り扱い」基本方針に基づき本人の同意を得ております。

ステリハビリシヨン学科が



恵み野キャンパス紹介



★恵み野キャンパスでは自転車通学者に対して、その安全走行のための自転車チェックが行われています。ブレーキの効きや防犯登録のステッカーの有無などを職員が確認します。



★写真入りの名札をすべての教職員、学生が首から下げています。初めて会った相手でも、この名札を見ることで互が認知できるシステムです。

「自由文庫」開始
リハビリシヨン学科でも



キャンパスのある恵庭市恵み野は、ガーデニングでその名を全国に知られた地域です。近隣には個人でオープンガーデンを実施しているお宅が多く、春から秋にかけては全国からそうしたオープンガーデンの見学に沢山の人々が訪れます。大学の前にも、ひとときわ素晴らしいガーデンが広がっており、毎日その変化を通学の度に味わうことができます。うらやましいですね。

教職員の皆さんのが読み終った本を、学生のために無償で提供してもらう「自由文庫」がリハビリシヨン学科でも設置されました。誰でも、好きな時に、どこへでも文庫の本を持ち出してお読み下さい。読み終わったらもとの棚に返す…ルールはこれだけです。貸し出し期間はまったくありません。利用に関する詳しいルールは、文庫の脇に設置してある案をお読み下さい。案はまた設置時にラーニングコモンズにいた学生たちがその制作に加わってくれたものです。本も、案も大学教職員や学生たちの心がこもったものです。是非ご利用ください。また、「自由文庫」では読み終わった本の提供をお待ちしています。真栄キャンパスは図書館まで、恵み野キャンパスは事務局までいつでもお持ち下さい。

主催・文庫管理 日本医療大学学生委員会

★食堂がない恵み野キャンパスではお弁当の販売と手作りパンの販売が行われていますが、人気商品はすぐ売切れてしまうので要注意。値段、味ともに学生からの評判は上々です。



TOPICS



大学事務局法人グループの高田課長が撮影した水平の虹とクエストマークの雲の写真です。いずれも大学の近隣でたまたま撮影されました。自然の営みは魔術不思議です。

歓迎本会を実施しました

真栄キャンパス体育館で4月27日(月)学友会によって新入生歓迎会が行われました。昨年は学友会の創設前であったため、教職員によるケーキとお茶のティーパーティ形式でしたが、今年は先輩学生が1年生を迎える本来の歓迎会となりました。会場の体育館がはちきれんばかりの盛り上がりぶりを是非アルバムからご覧ください。



平成26年度学生顕彰授与式挙行



平成26年度学生顕彰授与式が4月7日12時50分から、真栄キャンパス101講義室で挙行されました。年度別学生顕彰は傳野学長の「入学後、学業や社会貢献で1年間がんばった学生を讃えたい」という熱い思いから創設された制度です。在学生を年度ごとに、その成果を顕彰するという、他の大学にはない極めて珍しい制度となっています。平成26年度は成績優秀賞に看護学科の2年生8人が選ばれました。しかし開学して日が浅いこともあり、社会貢献賞は該当者なしという寂しい結果となりました。

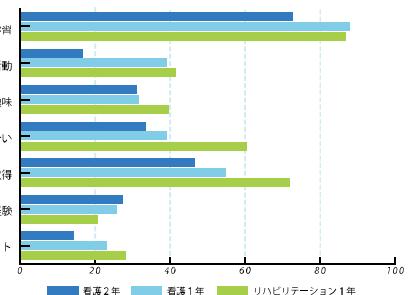
授与式当日、スーツ姿の学生たちは「顕彰の対象になったのは初めて、「知らせを聞いたときは驚いたが今日はとても嬉しい」と言いながらも、皆、緊張の面持ちで顕彰状と副賞の奨学金を学長から手渡されました。

平成27年度の顕彰学生数は一気に3倍となります。が、是非受賞者の中に、社会貢献賞の対象となる学生がいてほしいと願います。学業も大切ですが、人間力の高い医療関係者となる活動に、是非大学生として大いに参加してほしいと思います。

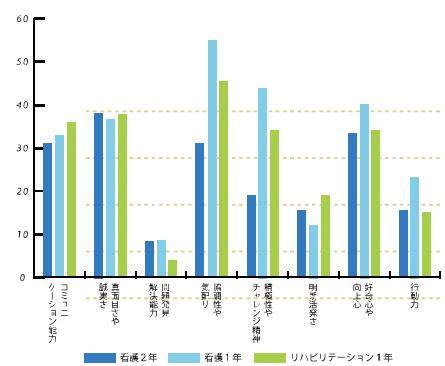
平成27年度第1回学友会総会から

- 第一号議案 平成26年度事業報告
- 第二号議案 平成26年度部活動活動報告
- 第三号議案 平成26年度決算報告・監査報告
- 第四号議案 平成27年度事業計画
- 第五号議案 平成27年度部活動活動計画
- 第六号議案 平成27年度予算案

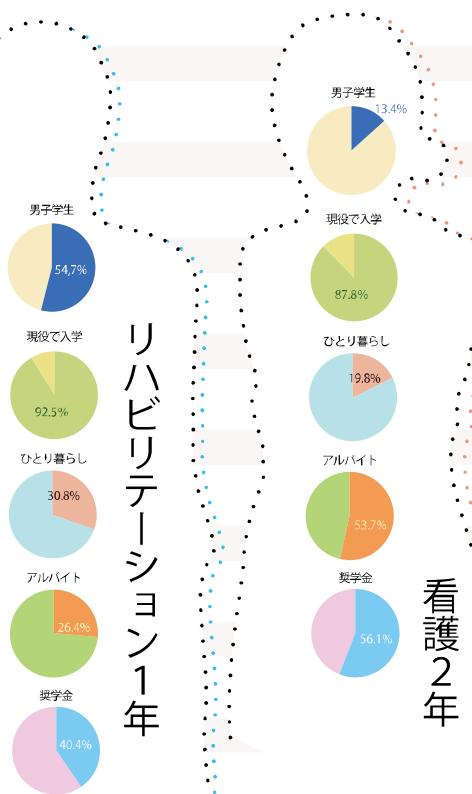
大学生活で重点を置いていること



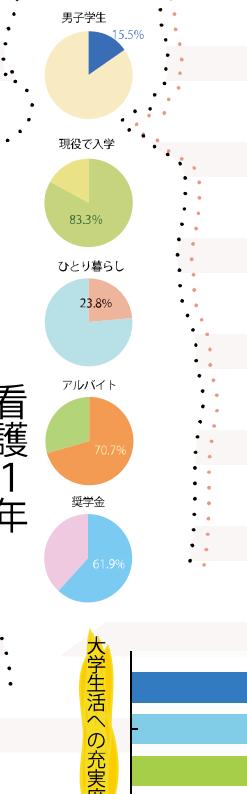
私たちの長所はこんなところ



リハビリテーション1年



看護1年



看護2年

田医生つて、こんな学生です。

平成27年度学生の入学と生活に関するアンケート結果から

